

宇5 自動判別路面音聴調査機器

求める技術：⑦

1 課題を抱える業務の内容

現在の漏水調査は、漏水探知機や音聴棒を使用し、人力で時間をかけて行っている。
また、熟練した職員による漏水探知機等を使用した漏水調査について、技術継承が課題となっている。

2 課題の詳細

熟練した漏水調査技術を持った調査員でなければ、漏水発見が難しい場合があり、多種多様な漏水パターン音を学習している機器を用いて金属探知機のように漏水を見つけることができれば、誰もが効率良く、漏水調査が実施できる。

3 こんな技術を求めています！

- ▷ 路面に近づけると漏水音を感知する技術
- ▷ 漏水音から、どの部分で（分水、管上等）漏水しているのかわかる技術
- ▷ 漏水音の学習から多種多様な管路状況（路面状況、管種）でも漏水が発見できる技術

4 技術の導入により代替が期待される業務

路面音聴調査作業の効率化

技術継承

5 事業規模・業務量

通年で使用